

stool

GAMBA



design: Kazuteru Murasawa 2008年
W420×D270×H445 SH435
カーブした座面はおしりに気持ち良くフィット。座裏と脚部の接合部は滑らかな曲線にこだわって仕上げている。

TRI



design: Yusuke Miyazaki 2018年
W460×D395×H455 SH440
カンチレバー構造の軽量なスツール。カンチレバー構造の軽量なスツール。掃除するとき、テーブルの天板に掛けることができる。



MODUS easy (+30)



design: Kristian Vedel 2017年
W710×D640×H660 SH350
アームと背がハンモックのように体と動きなじむ快適な座り心地。正方形モジュールのシステムデザイン。

MODUS ottoman (+30)



design: Kristian Vedel 2017年
W550×D550×H350
チェア、サイドテーブルと同じモジュール設計で軽量なオットマン。様々なレイアウトが可能。



MI table 丸テーブル 4本脚



design: Makoto Koizumi 2009年
φ900~1200×H700
小泉誠が設計した当社社歴のためにデザインされたテーブル。顔が見わたせてコミュニケーションしやすい。

Paper Knife center table



design: Kai Kristiansen 2008年
W1000/1200×D530/600×H440
紡錘形の脚部の構造、形状が特徴的なPaper Knifeシリーズのデザインと合わせたセンターテーブル。



hozuki stool (S)



design: Keishi Yoshinaga 2011年
W470×D440×SH435
三本脚、三角座面のスツール。座面のサイズは大きめでゆったりとした座り心地が得られる。



R+R counter



design: Makoto Koizumi 2005年
W360×D410×H850 SH700
R+Rのカウンター用タイプ。使用するカウンターの高さに合わせて、脚をカットして出荷することも可能。



Paper Knife sofa 3P



design: Kai Kristiansen 2008年
W1680×D770×H750 SH400
細身で美しい木のフレーム。ゆったりとしたサイズでもすっきりと見えるのが特徴。

pepe sofa 2P



design: Kazuteru Murasawa 2006年
W1460×D710×H750 SH360
コンパクトなサイズ感の2Pソファ。フレームの背は縦格子で後ろ姿が空間に映える。

Universe sofa single arm (New)



design: Kai Kristiansen 2024年
W680×D680×H750 SH395
片肘・肘無しタイプで構成するソファ。Universeシリーズに共通する脚部のなめらかな紡錘型のラインが特徴的。

hozuki table 3本脚



design: Keishi Yoshinaga 2010年
φ850~1150×H710
hozuki stoolのシリーズデザイン。丸棒の脚と貫がホゾ組で一体となる。ノックダウン方式で構成されている。

MM table



design: Kazuteru Murasawa 2005年
W1000~2200×D820~900×H710
さまざまな空間に合わせて使いやすいデザイン。ディテールに丸みを持たせたやさしい表情。サイズオーダーに対応。

UNI-Side Table



design: Kai Kristiansen 2019年
W570×D420×H450
奥行き寸法が異なる段違いの天板は、下段にボトルを立てて置くこともできる。木目の向きが直交しているのも特徴的。

A (S)



design: Makoto Koizumi 2008年
W470×D450×H420 SH415
A型のサイドフレームにより、座面を浮かせて積み重ねられるのでスタッキングしても座面に跡がつかない。



TRI 無垢座タイプ



design: Yusuke Miyazaki 2018年
W460×D395×H440 SH425
シンプルなデザインでコンパクト。他のアイテムとの組み合わせで、多人数掛けのソファが構成できる。

sofa & ottoman

MODUS armless (+30)



design: Kristian Vedel 2018年
W550×D640×H660 SH350
MODUSシリーズのアーム無しタイプ。他のアイテムとの組み合わせで自在のコーディネートが可能。

Paper Knife sofa 1P

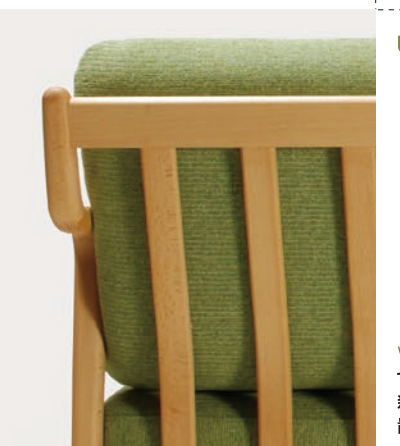


design: Kai Kristiansen 2008年
W640×D770×H750 SH400
ナイフをモチーフにしたアームの形状。他のアイテムとの組み合わせで自在のコーディネートが可能。

Paper Knife ottoman



design: Kai Kristiansen 2008年
W600×D400×H400
カイ・クリスチャンセンがデザインしたPaper Knifeシリーズのオットマン。紡錘形の脚部がシリーズの特徴。



Universe sofa armless (New)



design: Kai Kristiansen 2024年
W610×D680×H750 SH395
1960年代のオリジナルをリデザインして新たに誕生したシステムソファ。置き方、並べ方をアレンジして使える。

hozuki table 4本脚



design: Keishi Yoshinaga 2012年
φ950~1150×H710
軽やかでシンプルなながら、やわらかな印象の丸テーブル。3本脚か4本脚を選べる。



UNI-Dining Table



design: Kai Kristiansen 2023年
W1100~2100×D750~900×H720
Universe dining tableと共通の脚部デザイン。2人、または壁付けで3人で囲むのにちょうどいいサイズ。

Bon



design: Tadashi Chiba 2007年
W360×D225×H550
脚の接合部の形状が特徴的。腰かけるだけでなく、ちょっとしたものを置くのに便利にように座はフラット。

hozuki stool 無垢座タイプ (S)



design: Keishi Yoshinaga 2011年
W470×D440×SH420
座り心地の良いゆったりとした座面は腰かけるだけでなく、ちょっとしたものを置くのに便利にように座はフラット。

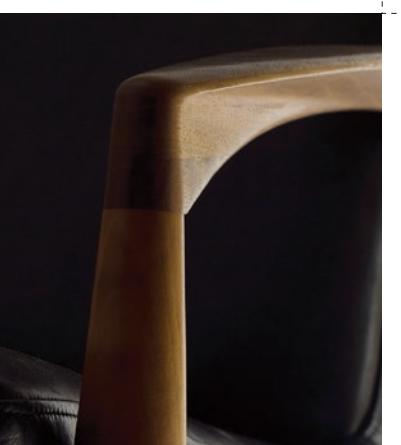
counter chair



MODUS left arm (+30)



design: Kristian Vedel 2018年
W630×D640×H660 SH350
MODUSシリーズの左片肘タイプ。アーム無し、右片肘タイプと組み合わせ、多人数掛けのソファが構成できる。



pepe sofa 1P



design: Kazuteru Murasawa 2006年
W745×D710×H750 SH360
pepeのデザインをシリーズ展開した。ごろ寝もできるゆったりサイズ。張地はカバーリング方式でクリーニング可。

pepe sofa 3P



design: Kazuteru Murasawa 2011年
W1720×D710×H750 SH360
厚みのある贅沢なクッション。ごろ寝もできるゆったりサイズ。家族が集まるリビングにおすすめ。

table

MI table 角テーブル



design: Makoto Koizumi 2009年
W1500~2000×D830~930×H700
小泉誠が設計した当社社歴のためにデザインされたテーブル。お客様からの要望で商品化に至った。

MODUS side table (+30)



design: Kristian Vedel 2017年
W550×D550×H325
テーブルトップを乗せたり外したりすることで様々な使い方が可能。チェア、オットマンと同じ外形サイズ。

Universe dining table



design: Kai Kristiansen 2008年
φ1000/1100/1200×H720
No.42の複製製作を開始するときに、カイ・クリスチャンセンが新たにデザイン。天板は無垢タイプと突板タイプが選べる。



ORI (S)



design: Makoto Koizumi 2004年
W430×D375×H420
強度を確保する独特なジョイントをした折り紙のような形状は、角度により木の厚みが見えなくなる視覚性もそなわる。

BAR



design: INODA+SVEJE 2017年
W425×D425×H875 SH760
お尻にフィットする座面と腰を支える背で安定した掛け心地が得られる。足乗せは風合いが増していく真鍮製物。

IS sofa (+40)



design: INODA+SVEJE 2015年
W1495×D700×H755 SH390
有機的な曲線で構成された独特のフォルムを生かすため木部と張地の目目に段差が生じない張りの工夫がされている。

MODUS right arm (+30)



design: Kristian Vedel 2017年
W630×D640×H660 SH350
MODUSシリーズの右片肘タイプ。立体的で表情豊かなクッションは、意匠的な特徴にもなっている。

Paper Knife sofa 2P



design: Kai Kristiansen 2008年
W1150×D770×H750 SH400
二人掛けでも軽やかな印象。北欧ならではのシンプルでミニマルなデザイン。



en side table



design: Makoto Koizumi 2004年
W465×D420×H550 天板φ400
円の周辺から伸びる一本のステムで天板を支えるデザイン。脚部が、ソファやベッドの下におさまりやすい。

MI table 丸テーブル 3本脚






























































design: Makoto Koizumi 2009年
φ900~1200×H700
MI table 丸の3本脚タイプ。3人掛けや6人掛けで使用する場合に、脚がじゃまにならず座れる。



宮崎椅子製作所

Miyazaki Chair Factory 2024

<p>chair</p> <p>New 2024年新製品です</p> <p>+20 脚長タイプのある製品です 数値は伸長寸法 (mm)</p> <p>S スタッキング可能な製品です</p> <p>C 置きクッション(別売)がある製品です</p>	<p>C 背無垢タイプ +35</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2018年 W515×D520×H745 SH420</p> <p>畳ずりがついた台形のフレームは、 量や針葉樹の床材にも最適な形。 美しく削り出したパーツを C型の背板は無垢材と布張の2タイプ。</p>	 <p>DC11 +30</p> <p>design: INODA+SVEJE 2024年 W630×D535×H730 SH430</p> <p>大らかなでゆったりとした座り心地。 美しく削り出したパーツを オーセンティックな構造で仕上げた椅子。</p>	<p>Golondrina</p>  <p>design: Jorge Herrera 2017年 W870×D780×H690 SH380</p> <p>木製フレーム、シート構造、張り、 さまざま技術に挑みながら開発した製品。 包み込まれる座り心地と佇まいが特徴。</p>	<p>hata +30</p>  <p>design: Keishi Yoshinaga 2011年 W510×D505×H725 SH420</p> <p>風を受けた旗のようなアームから背の ラインが名称の由来。無垢材を削った 背には表情豊かな木目があらわれる。</p>	<p>LIBERO +30</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2017年 W515×D500×H780 SH430</p> <p>ちょっと肘をのせるハムアームは、 テーブルに掛けられて、掃除がしやすい。 掃除ロボットも喜ぶハンギングチェア。</p>	<p>maku ベーパーコード</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2021年 W420×D425×H740 SH420</p> <p>宮崎椅子製作所初のベーパーコードの座。 makuはいずれのタイプも3kg前後だが、 最も軽量に仕上がるのがこのシート。</p>	<p>MODUS dining arm New +20</p>  <p>design: Kristian Vedel 2024年 W625×D520×H765 SH430</p> <p>ウレタン製の背とアームが、 ハンモックのように体を受け止める。 デザインのポイントになっている。</p>	<p>pepe arm +20</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2004年 W535×D550×H770 SH435</p> <p>ゆったりとした座り心地で軽量。 フィンガージョイントの接合部が デザインのポイントになっている。</p>	<p>pepe lounge +20</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2006年 W590×D620×H735 SH380</p> <p>ゆったりとしたサイズで座面は低め。 体をあずけた姿勢で座れるよう、 背の角度とカーブがデザインされている。</p>	<p>SINN 無垢座タイプ New +20</p>  <p>design: Alan Hung 2024年 W550×D560×H730 SH420</p> <p>長時間座っても快適なように背の角度・ 形状を追求したデザイン。座面のカーブ、 アームの丸みから優しい感覚が得られる。</p>	 <p>UNI-Master ベーパーコード +25</p> <p>design: Kai Kristiansen 2023年 W595×D485×H720 SH420</p> <p>使うほど感触が和らぐベーパーコードは、 夏は涼しく、冬は温かみを感じる素材。 経年変化で味わいが深まることも特徴。</p>		
<p>azuki +25</p>  <p>design: Keishi Yoshinaga 2016年 W470×D485×H750 SH425</p> <p>後ろ脚が張り出した緊張感のある形。 板材は薄く、棒材は細く削り込み、 最小の部材で構成した軽量の椅子。</p>	<p>C caster</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2021年 W520×D525×H745 SH420</p> <p>キャスター付きの木の椅子。動きが スムーズなキャスターを採用することで、 デスクワークの快適さを高めている。</p>	<p>DC09 +20 C</p>  <p>design: INODA+SVEJE 2011年 W540×D510×H740 SH435</p> <p>座と背を一体化して 削り出したパーツを、背、アーム、 脚部は木のポリウム感たっぷり。</p>	<p>DC11 ベーパーコード New +30</p>  <p>design: INODA+SVEJE 2024年 W630×D535×H730 SH415</p> <p>接合部の意匠性もこの椅子の特徴。 ベーパーコードの座は、編み目の美しさ と快適な張りを追求した。</p>	<p>Golondrina ottoman</p>  <p>design: Jorge Herrera 2018年 W605×D605×H390</p> <p>Golondrinaの有機的な形状を引き継いで デザインしたオットマン。広い座面の 縫製ラインから表情が生まれている。</p>	<p>IS lounge</p>  <p>design: INODA+SVEJE 2012年 W735×D705×H710 SH370</p> <p>NCルーターの機能をフル活用して 削り出した有機的な曲線を持つアームを シンプルなフレームに組み合わせている。</p>	<p>LUNA S</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2014年 W550×D500×H720 SH445</p> <p>座の中心を軸に、回転しながら 垂直に積み上げていく スタッキング機能がそなわる。</p>	<p>menu arm +20</p>  <p>design: Hiroshi Akutsu 2009年 W505×D485×H770 SH435</p> <p>軽量化を追求することで、 構造はスタンダードに、デザインは シンプルに仕上がったアームチェア。</p>	 <p>pepe arm 背布張タイプ +20</p> <p>design: Kazuteru Murasawa 2016年 W535×D550×H770 SH435</p> <p>背あたりの良さに定評のある背に、 クッション性を持たせたタイプ。 一層向上した快適な座り心地。</p>	<p>pepe lounge 背布張タイプ +20</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2016年 W590×D620×H735 SH380</p> <p>包み込まれるようなゆったり感が増し、 座り心地が向上。見た目にもより質的な 印象がそなわった。</p>	 <p>U +20</p> <p>design: Makoto Koizumi 2006年 W490×D520×H720 SH415</p> <p>背とアームがU字型に一体化。 肘掛けの機能を失わず、アームがあっても 横からの立ち座りがしやすい。</p>	 <p>UNI-Rest</p> <p>design: Kai Kristiansen 2017年 W695×D710×H720 SH380</p> <p>UNIシリーズのパーソナルチェア。 1960年代のオリジナルをデザイナーが 自ラリデザインし、改良タイプとなった。</p>		
<p>azuki 無垢座タイプ +25 C</p>  <p>design: Keishi Yoshinaga 2014年 W470×D485×H750 SH415</p> <p>丸く削ったフレーム、湾曲させて 薄く削り出した背板と座面には、 ダイナミックな木目があらわれる。</p>	 <p>DC10 +30</p> <p>design: INODA+SVEJE 2012年 W570×D510×H740 SH425</p> <p>薄く、細く削り出したパーツを 精密に組み立てて仕上っている。 ゆったりとしていて、快適な座り心地。</p>	 <p>hachi</p> <p>design: Makoto Koizumi 2023年 W440×D540×H770 SH415</p> <p>正円をモチーフにした座と背には、 緩やかな曲線加工が施され、 座り心地、背当たりを和らげている。</p>	<p>kuku</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2005年 W495×D535×H725 SH420</p> <p>接合部の加工精度を高め、接合方法を 追求した。背もたれが宙に浮いている ようなカンチレバー構造の木製椅子。</p>	<p>LUNA 無垢座タイプ S</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2014年 W550×D500×H720 SH435</p> <p>円がモチーフのデザイン。 笠木は曲げ木。丸い板座は、 座くりに座り心地を高めている。</p>	 <p>menu side +20</p> <p>design: Hiroshi Akutsu 2009年 W440×D485×H770 SH435</p> <p>スタンダードな構造でパーツの細さと 薄さを追求し、指にかけて 持ち上げられるほどの軽量化を実現。</p>	<p>MODUS dining side New +20</p>  <p>design: Kristian Vedel 2024年 W500×D520×H765 SH430</p> <p>現存するビンテージ品を3Dスキャンし、 それを参考に木部・ウレタンの形状を 一から精密に削って複製を遂げた。</p>	 <p>pepe side +20</p> <p>design: Kazuteru Murasawa 2004年 W535×D550×H770 SH435</p> <p>サイドフレームの断面は脚部先端では円、 アーム部では丸四角になり背の先端で 再び円になる特徴を持っている。</p>	<p>sail +35</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2015年 W450×D505×H780 SH415</p> <p>フラットバックできるロックダウンチェア。 アーム部では丸四角になり背の先端で 再び円になる特徴を持っている。</p>	<p>tonton</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2023年 W620×D935×H860 SH320</p> <p>無垢材で構成した独自構造のフレーム。 子供を抱っこして揺れながらあやす イメージで開発したロッキングチェア。</p>	<p>UU +20</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2008年 W565×D530×H730 SH430</p> <p>U字型フレームを2つ重ねたデザイン。 Uの肘掛けを発展させて、 よりゆったりとしたアームになっている。</p>	 <p>UNI-Rest High</p> <p>design: Kai Kristiansen 2018年 W695×D800×H960 SH380</p> <p>UNI-Restのハイバックタイプ。 ピロクッションは高さ自在に調整可。 捻ったように削り出したアームが特徴的。</p>		
<p>bo +20 C</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2013年 W420×D485×H850 SH410</p> <p>木をひねっているように削り出した 背柱など、現在の木工技術を生かした ラウンドフォルムのウインザーチェア。</p>	<p>D</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2023年 W515×D555×H730 SH400</p> <p>左右の台形フレームは、 軽量で強度を高めることが特長。 大きな背が体を優しく支える。</p>	 <p>fufu +20</p> <p>design: Makoto Koizumi 2017年 W540×D560×H740 SH430</p> <p>前脚、アーム、後ろ脚がフの字で一体化。 当たりの良さとフォルムを追求した背が 独特の方法で接合されている。</p>	<p>HAKU</p>  <p>design: Tadashi Chiba 2012年 W450×D495×H745 SH425</p> <p>主張を抑えた佇まい。テーブルや kukuの発売から1年後に加わった、 "普通の上質"がデザインテーマ。</p>	<p>kuku muku</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2006年 W495×D535×H725 SH420</p> <p>くの字型のサイドフレームが名称の由来。 kukuの発売から1年後に加わった、 背がフレームと同じ無垢材のタイプ。</p>	<p>maku</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2021年 W420×D425×H740 SH420</p> <p>宮崎椅子製作所初のオリジナル製品、 KK chairを改良複製。膜構造を応用し、 軽量化を図り、より良い座り心地を実現。</p>	<p>menu side +20</p>  <p>design: Hiroshi Akutsu 2009年 W440×D485×H770 SH435</p> <p>スタンダードな構造でパーツの細さと 薄さを追求し、指にかけて 持ち上げられるほどの軽量化を実現。</p>	<p>No.42</p>  <p>design: Kai Kristiansen 2008年 W535×D545×H750 SH460</p> <p>独特のアームと傾斜した後脚が特徴。 快適な座り心地。この椅子の復刻から カイ氏との交流が始まった。</p>	<p>pepe side 背布張タイプ +20</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2016年 W535×D550×H770 SH435</p> <p>背あたりが優しい背布張タイプは、 よりゆったりとした座り心地、 食後でもくつろいで過ごせる。</p>	<p>SINN New +20</p>  <p>design: Alan Hung 2024年 通常サイズ W550×D560×H710 SH430 +20サイズ W550×D560×H750 SH470</p> <p>最小限のパーツで組み上げた構造。 デザインに込めた「心」が名前の由来。</p>	<p>tsumuji +25 C</p>  <p>design: Takuya Matsuoka 2021年 W495×D445×H700 SH425</p> <p>無垢材だけで構成した3本脚の椅子。 よりゆったりとした座り心地を和らげる ように繊細な形状加工を施している。</p>	<p>UNI-Senior / #4110 +25</p>  <p>design: Kai Kristiansen 2011年 W490×D475×H720 SH440</p> <p>ゆるやかな曲線で構成された シンプルなフォルムは、さまざまな インテリアデザインと調和が図りやすい。</p>	<p>UNI-Ottoman</p>  <p>design: Kai Kristiansen 2019年 W490×D360×H380</p> <p>脚部、縫製ステッチのデザインが共通の UNI-Rest High / UNI-Restと座面高を揃え、 セットでリラックスした姿勢が得られます。</p>	
<p>C +35</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2018年 W515×D520×H745 SH420</p> <p>一般的に流通している 「インチ材でつくる椅子」が開発テーマ。 C型の背板が個性的な表情となっている。</p>	<p>daen +30</p>  <p>design: Makoto Koizumi 2021年 W550×D535×H740 SH420</p> <p>単一の精肉断面の材料を繋ぎ合わせて、 3次元曲木のようなフォルムを構成。 独特な接合方法を開発し強度を確保した。</p>	<p>DC10 メッシュタイプ +30</p>  <p>design: INODA+SVEJE 2012年 W570×D510×H740 SH425</p> <p>座に弾性のあるメッシュ素材を使用。 快適な座り心地が得られるとともに 軽量に仕上がっている。</p>	<p>GINA +20</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2009年 W540×D570×H790 SH420</p> <p>同じ断面が存在しない連続したラインが デザインの特徴。座と背は成形合板で、 座り心地の良い弾力がそなわる。</p>	<p>HANDY +30</p>  <p>design: Kai Kristiansen 2014年 W500×D525×H720 SH420</p> <p>1956年発表のNV31に改良を加え複製。 座り心地、強度に優れた スタンダードデザイン椅子。</p>	<p>KUMO New</p>  <p>design: Anker Bak 2024年 W940×D835×H1180 SH410</p> <p>抜きんでた存在感を持つラウンジチェア。 オリジナルで開発した金物を使った リクライニング機構がそなわっている。</p>	 <p>No.42</p> <p>design: Kai Kristiansen 2008年 W535×D545×H750 SH460</p> <p>独特のアームと傾斜した後脚が特徴。 快適な座り心地。この椅子の復刻から カイ氏との交流が始まった。</p>	<p>pepe side 背布張タイプ +20</p>  <p>design: Kazuteru Murasawa 2016年 W535×D550×H770 SH435</p> <p>背あたりが優しい背布張タイプは、 よりゆったりとした座り心地、 食後でもくつろいで過ごせる。</p>	<p>SINN New +20</p>  <p>design: Alan Hung 2024年 通常サイズ W550×D560×H710 SH430 +20サイズ W550×D560×H750 SH470</p> <p>最小限のパーツで組み上げた構造。 デザインに込めた「心」が名前の由来。</p>	<p>tsumuji +25 C</p>  <p>design: Takuya Matsuoka 2021年 W495×D445×H700 SH425</p> <p>無垢材だけで構成した3本脚の椅子。 よりゆったりとした座り心地を和らげる ように繊細な形状加工を施している。</p>	<p>UNI-Master +25</p>  <p>design: Kai Kristiansen 2017年 W595×D485×H720 SH440</p> <p>2011年にサイドチェアを改良複製して以来、 じっくり開発に取り組んだアームタイプ。 マスターの名に相応しい座り心地と佇まい。</p>	<p>株式会社宮崎椅子製作所 779-0223 徳島県鳴門市大塚町川崎710番地 tel 088-641-2185 fax 088-641-3459</p> <p>Miyazaki Chair Factory Co., Ltd. 710, Kawasaki, Oasa-cho, Naruto-shi, Tokushima 779-0223 JAPAN tel +81-88-641-2185 fax +81-88-641-3459</p> <p>e-mail info@mizyakaisu.co.jp URL : https://www.mizyakaisu.co.jp</p>	<p>株 会社 宮崎椅子製作所 779-0223 徳島県鳴門市大塚町川崎710番地 tel 088-641-2185 fax 088-641-3459</p> <p>Miyazaki Chair Factory Co., Ltd. 710, Kawasaki, Oasa-cho, Naruto-shi, Tokushima 779-0223 JAPAN tel +81-88-641-2185 fax +81-88-641-3459</p> <p>e-mail info@mizyakaisu.co.jp URL : https://www.mizyakaisu.co.jp</p>	<p>株 会社 宮崎椅子製作所 779-0223 徳島県鳴門市大塚町川崎710番地 tel 088-641-2185 fax 088-641-3459</p> <p>Miyazaki Chair Factory Co., Ltd. 710, Kawasaki, Oasa-cho, Naruto-shi, Tokushima 779-0223 JAPAN tel +81-88-641-2185 fax +81-88-641-3459</p> <p>e-mail info@mizyakaisu.co.jp URL : https://www.mizyakaisu.co.jp</p>